

事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0110504 - 04000

京都府南丹市

作成日: 平成21年05月07日

事業名	展示会事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体	教育委員会 社会教育課
事業区分	事業分類: (B)ソフト事業 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	政策体系CD: 252	<input type="checkbox"/> その他 ()	担当: 井尻智道
		関連法令・条例等	博物館法	

【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け
南丹市内に残る伝統や文化を後世に残すために、市内の歴史文化にまつわるテーマを設定、展示会を開催する。展示会を観覧し、理解することによって地域の歴史を郷土への愛着を深めることができる。また、展示会を通して、地域の人々と協同して文化を育てるとともに、地域の活性化をもたらす役割を果たすことを目的とする。
- ②事業を実施する必要性
経済力が、文化・芸術を支える時代から、文化・芸術が経済社会のあり方を変える時代に移ろうとしている。これからの博物館は、まさにこの点にその存在意義が求められている。博物館利用者の学習意欲をかきたてるような展示会を定期的実施し、収蔵資料についても充実させる。
- ③未実施事項
文化博物館・日吉町郷土資料館で、大小の展示会を計6回開催したが、それぞれに関連する講座を開催できなかった。展示会と言えば、資料調査し、利用者にわかりやすく展示公開することとなるが、これに時間等を費やしたため、参加型の講座に結びつけることができなかった。
- ④他にも効果が見込める施策があるか
第1章 3 生涯にわたって学び、活かす機会をつくる
＝ 住民に対し、学習機会を提供することができる。

【前年度の評価を受けて改善した点等】

展示内容については、担当者が立案し、所属長の許可を得て実施しているが、住民からの要望が届きにくい。展示会ごとに、アンケート等を実施しているが、具体的な要望等がないのが現状である。近年、住民参加・参画型の展示会も盛んになっていることから、これらの取り組みを積極的に行いたい。また、学校との連携についても、鑑賞教育などの面でプログラム等を作成し博物館・資料館を活用する方向性を出したい。

【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	7,210	7,443	7,307	4,031	4,031
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	7,210	7,443	7,307	4,031	4,031
職員等従事人員	人/年	—	—	1.32		
人件費	千円	—	—	5,419		
事業費総額	千円	—	—	12,726		

【主な支出の内訳】

展示会事業 2,261千円 (報償費・旅費・消耗品費・保険料・委託料・使用料)
 展示資料輸送等 1,699千円 (委託料)
 展示会広報チラシ、展示会解説図録等作成 3,033千円 (印刷製本費)
 展示会用備品購入事業 341千円 (備品購入費)

【近隣市町村の取り組み状況】

亀岡市文化資料館が最も身近な施設となるが、市民共同の展示会等も開催されており、今後の方向性で参考になる点が多い。

【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
来館者増だけを考えるのではなく、南丹市に関連するテーマで事業展開できるようストーリー性を持たせた。
- ②当該事業のアピール事項
南丹市内に残る歴史と文化をテーマとして、事業を展開できるのはこの事業の特異性である。これを活かして、市民の郷土への意識を高めていくことができる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
展示会のテーマ等について市民の意見を取り入れる工夫をしたい。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	252	事業名	展示会事業		
事業CD.	110504-04000	細事業名			
所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当	井尻智道

110504-04000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
展示会事業	●文化博物館 夏季企画展『妖怪大集合！！』 展示点数:約150点 関連行事:『夏のこわ〜いお話し会』	7月19日(土)～8月31日(日)	入館者数:2827人 協力:おはなしポケット、そのべ読み語りクラブ
	●文化博物館 開館10周年記念 秋季特別展『園部落のあゆみ』 展示点数:約87点	10月25日(土)～11月24日(月)	入館者数:757人
	●文化博物館 春のミニ展示会『里のひな祭り～受け継がれた贈りもの～』 展示点数:100点	平成21年3月28日(土)～5月10日(日)	入館者数:429人(4月30日現在) 協力:南丹市女性の館
	●文化博物館 工芸品展示会(南丹工芸文化祭、南丹文化ジョイントプログラム) 出品点数:43点(工芸家作品)21点(学生作品)	平成21年1月31日(土)～2月8日(日)	入館者数:815人 主催:南丹教育局等、南丹工芸文化祭実行委員会
	●日吉町郷土資料館 春季ミニ収蔵品展「ひよしの炭づくり」 主な展示品:ひよし窯の模型、ひよし窯の写真パネル、炭を使う生活用品、山の道具	4月26日(土)～6月8日(日)	入館者数:336人
	●日吉町郷土資料館 平成20年度秋季企画展「中嶋政樹写真展—地図にない村—」 主な展示品:中嶋氏所有の約80点の半切サイズ写真、中嶋氏のカメラや三脚など携帯品、撮影に関する資料	9月20日(土)～11月30日(日)	入館者数:1115人
	●日吉町郷土資料館 平成20年度春季企画展「郷土の土人形—節句を飾る土人形たち—」 主な展示品:伏見人形 約161点、稲畑人形 95点	2月21日(土)～4月26日(日)	入館者数:402人
その他	●文化博物館・日吉町郷土資料館 展示会図録等の作成 ※3月発刊分は無料配布の冊子	博物館:7月、10月、3月 発刊 資料館:4月、9月、2月 発刊	配布先:市内小中学校、府内図書館、行政機関・博物館・美術館等 残部は来館者等に販売